



中小企業活性化への提言

竜ヶ崎法人会が税制改正に関する提言書を提出

11月18日、(一社)竜ヶ崎法人会牛久地区会(海老原会長)から滝本副市長に「令和5年度税制改正に関する提言」が手渡されました。提言書ではポストコロナの経済再生と財政健全化を目指し税財政改革の実現や厳しい経済環境を踏まえた中小企業の活性化に資する税制などの要望がなされました。



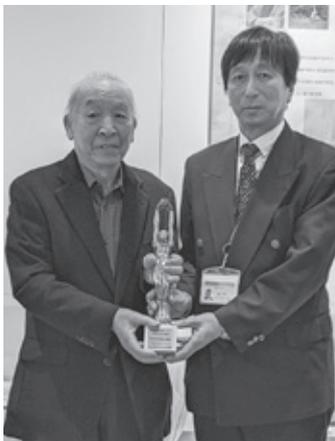
寄附・寄贈

温かい善意ありがとうございます

住井すゑ・記録映画資料の寄贈

●住井すゑ映画関係者からトロフィー寄贈

12月1日、映写技師である鈴木文夫さんから牛久市へ、「住井すゑ・百歳の人間宣言」(平成14年公開)DVDと、同映画が受賞した第57回(2002年)毎日映画コンクール記録文化映画賞(長編)トロフィーが寄贈されました。



牛久市社会福祉協議会へ

●牛久市仏教会から「歳末たすけあい募金」として
243,304円寄附



叙勲

～受章おめでとうございます～

「秋の叙勲」と警察官や消防士などの業務に長年従事した人をたたえる「危険業務従事者叙勲」が発表されました。牛久市では24の方が受章されました。おめでとうございます。

令和4年 秋の叙勲

●瑞宝中綬章

長岡 憲一 (元 中国公安調査局長)

●瑞宝小綬章

赤塚 信雄

(元 気象研究所環境・応用気象研究部長)

黒澤 正三郎

(元 横浜海上保安部巡視船業務管理官)

袖山 正美

(元 陸上自衛隊幹部学校主任教官)

山本 寧

(元 さいたま地方法務局長)

●瑞宝双光章

金谷 正彦

(元 公立小学校長)

小林 良雄

(現 茨城農芸学院教諭)

●旭日単光章

池田 正純

(元 牛久市等公平委員会委員)

第39回 危険業務従事者叙勲

●瑞宝双光章

岩永 勝敏

(元 警視正)

佐和 正久

(元 警視庁警部)

豊野 隆藏

(元 警視正)

藤田 勇一郎

(元 警視正)

本田 寅男

(元 警視正)

●瑞宝単光章

亀崎 正五

(元 茨城県警部)

栗田 修

(元 警視庁警部補)

関 秀雄

(元 警視庁警部補)

本山 秀光

(元 東京消防庁消防司令)

※掲載の許可をいただいた方のみお名前などを掲載しています。(敬称略)



芸術を見て、触れる

第27回うしく現代美術展

11月20日から12月4日に「第27回うしく現代美術展」が中央生涯学習センターで開催されました。今回は「見せて魅せて」のテーマのもと、平面、立体、クラフト、映像の作品全60点が展示されました。会期中には小中学校芸術鑑賞会も行われ、作品を鑑賞したり、作家の方に「なぜ、この作品のタイトルにしたのか」などの質問を投げかけたりと、子どもたちにとって直接芸術作品に触れることのできる機会となりました。



牛久駅西口、利用しやすく

ペDESTリアンデッキがリニューアル

この度、牛久駅とエスカード牛久を繋ぐ、ペDESTリアンデッキ(西口歩道橋)が新しくなりました。改修工事では耐震補強に加え、天候の影響を受けずに通行できるよう新たに屋根を設置しました。



1

1 より通行が便利になりました

2 新しく舗装されたタイルの中にハートがいくつか隠れています



2

モズ(百舌・百舌鳥)

スズメ目モズ科



低木のある農地や河原など開けた場所を好み、住宅地でもよく見られます。丸みのある体に比して長い尾を、くるくると回すように振る

習性があります。凶鑑などを見ると、日本では留鳥渡りをしない鳥とありますが、秋から冬にかけて雪の降らない地方の平地に渡来し、越冬地で3月から4月中旬に繁殖したのち、夏は高原や北の地方に移動しています。いろいろな鳥のさえずりをまねして早口でつばやくように鳴くことから、「百舌」を持つ鳥として、この名がつけられました。

問 都市計画課 ☎内線2524

『牛久市版レッドデータブック追補版(令和2年3月発刊)』に掲載している植物を「牛久の希少植物」として紹介していきます。

牛久の希少植物

第20回

オオハナワラビ

ハナヤスリ科



オオハナワラビ(大花蕨)
(平成22年10月9日撮影)

関東以西から九州にかけてのやや湿った林下に生え、冬のあいだ緑色の葉を付ける(冬緑性)多年生シダです。栄養葉と胞子葉があり、栄養葉は葉身を五角形に広げ

ます(写真参照)。胞子葉は花茎のように垂直に伸び、胞子は秋から冬に黄熟します。胞子葉の柄は15~35cm、胞子のこの穂は7~10cmあり、合計40cm以上になりますが、栄養葉は10~20cmと低い位置に付きます。 ※本書70ページに掲載。 【資料提供】NPO法人うしく里山の会(文章および写真:秋山侃)

「牛久市版レッドデータブック追補版 牛久における絶滅のおそれのある野生生物」販売中 ※お求めは都市計画課まで(〒13500) ☎



寒い夜心温まるイルミネーション

ブリアントヴィルうしく、ウインターイルミネーション

今年も牛久駅とひたち野うしく駅の周辺でイルミネーションが点灯し、人々の目を楽しませてくれています。

牛久駅周辺の「第17回ブリアントヴィルうしく」は例年のイルミネーションに加えて、バス停を牛久シャトーのブドウ棚をイメージして装飾。牛久らしさを表現したイルミネーションとなっています。こちらの点灯は2月12日(日)まで。また、ひたち野うしく駅周辺では、ひたち野うしくまちそだて協議会による14回目の「ひたち野うしくウインターイルミネーション2022」が2月28日(火)まで点灯中。お近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。

- 1 ブドウ棚をイメージした牛久駅東口バス停のイルミネーション
- 2 牛久駅東口出口の様子
- 3 ひたち野うしく駅東口周辺(西口もあり)



私たちのためにありがとう

交通安全教化員に感謝の気持ちを

交通安全教化員は交通安全や防犯について子どもたちに教える活動を行っています。牛久幼稚園の子どもたちは11月22日、市役所を訪れ、交通安全教化員に切り絵の花束をプレゼントし、感謝の気持ちを伝えました。最後には「交通安全に気をつけてルールを守ります」と約束をしました。



しあわせをよぶ
レシピ

毎月19日は食育の日「いただきます」と「ごちそうさま」は感謝の気持ちの合言葉

問 健康づくり推進課
(保健センター内)
☎内線1744

餅チヂミ

このレシピは「食と健康の応援団」ヘルスメイト(食生活改善推進員)が作成しました。



モチモチしていて
食べ応えがあります!

材料 (4人分)

切り餅……………	4個		1人分232Kcal 塩分1.5g	
ニラ……………	1/2束	A	卵……………	1個
白菜キムチ……………	100g		水……………	1/2カップ
ごま油……………	大さじ1		小麦粉……………	20g
			片栗粉……………	30g
			ポン酢しょうゆ…	適量

今回はお餅を韓国風に変身させてみました。いつものお餅とはまた違ったアレンジを楽しんでみてください☆

作り方

- ①餅は厚さ5mmの薄切りにする。
- ②ニラは2~3cm、キムチは大きければ一口大に切る。
- ③Aをボウルで混ぜ合わせ、ニラとキムチを加えてさらに混ぜ、生地を作る。
- ④フライパンにごま油をひいて餅を並べ、その上に③を広げて中火にかける。
- ⑤餅がこんがり焼けてきたら、裏返し火を通す。
- ⑥食べやすい大きさに切って、ポン酢しょうゆを添える。

牛久市食育推進のための野菜キャラクター「USHIKU野菜オーケストラ」ハクミン



一口メモ

~1月11日は鏡開き~
鏡開きとは、お正月に歳神様にお供えていた鏡餅を手や木槌で割って食べ、無病息災や家庭円満を願う行事です。茨城県では、お雑煮やお汁粉のほか、小豆粥に入れて食べる地域もあります。

FMうしくうれしく放送(周波数85.4MHz)で、平日午前9時30分から「USHIKU野菜オーケストラ」レシピを放送しています!

生産者に感謝、おいしい給食

学校給食「和食の日」、JAから大根寄贈

11月24日の「和食の日」にちなみ、市内小・中・義務教育学校、市立幼稚園・保育園、社協保育園で「和食の日」給食が実施されました。この日各校・園の給食で使用された食材はJA水郷つくば大根生産部会から寄贈されたうしく河童大根で、中根小学校では「うしく河童大根のあつあつ煮」として提供されました。



子どもたちは「大根はやわらかくてとてもおいしかった。家でも和食について家族と話し合いました。もっと和食を食べたいです」と話しました。



▲11月17日の寄贈式

いいものたくさん、ふるさとうしく

ウシクリスマスフェスタ2022

牛久の魅力向上のために開催しているイベント「ウシクリスマスフェスタ」。12月4日、あみプレミアム・アウトレットで3年ぶりに開催されました。今回は「いいものたくさん、ふるさとうしく 牛久を知って、好きになる」をテーマに、牛久市をPRするほか、牛久市のふるさと納税に返礼品を出品している事業者が出店しました。当日はたくさんの方が当イベントに立ち寄り、牛久市をより知っていただく機会となりました。



牛久の花「菊」新品種の名称決定

「令和4年度うしく菊まつり」新品種の菊

10月30日から11月13日まで開催された「令和4年度うしく菊まつり」の会場で、市内在住で菊栽培の指導などを行っている園芸家の上村遙さんによる新品種の菊が3種類発表され、名称を募集しました。

応募総数は174通にのぼり、その中から以下の名称に決定しました。



牛久のれいめい



牛久の白鳥



女化のほほえみ

安全運転を呼びかける

年末の交通安全キャンペーン

年末の交通事故防止県民運動に合わせて、11月30日に栄町3丁目交差点で街頭キャンペーンを実施しました。交通安全ボランティア団体など約80人の参加者は、運転者や歩行者に啓発品を配布しながら、子どもと高齢者の交通事故防止や飲酒運転の撲滅を呼びかけました。



再生紙、環境に優しい植物油

インキを使用しています。



見やすいユニバーサルデザイン

フォントを採用しています。